

2020年6月16日

新型コロナウイルスの影響と感染拡大防止対策等について (6月16日現在)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応について、4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき政府より緊急事態宣言が発出され、5月25日に全都道府県で解除が発表されましたが、現時点の当社への影響と引き続きの感染拡大防止対策等についてお知らせします。

1. 基本的な考え方

緊急事態宣言の間、当社としては、物流を担う指定公共機関として、利用運送事業者の皆さまと協力して貨物列車の運行を確保し、社会・経済への影響を最小化するように努めてまいりましたが、今後もその使命を果たしてまいります。

(2020年5月25日 当社ホームページ ニュースリリース)

2. 現在までのコンテナ輸送の動向(6月15日時点)

4月以降、国内景気低迷に新型コロナウイルスの感染拡大の影響が加わり、5月についてはほぼ全ての品目で対前年を下回る結果となりました。6月に入ってから、これまでの傾向に大きな変化はなく、輸送量の対前年減が続いている状況であり、6月1日から6月15日までの速報値では、積合せ貨物が前年を上回っている(対前年101.2%、+1.4千トン)一方、特に、自動車部品(対前年52.4%、△19.5千トン)、紙・パルプ(対前年72.7%、△27.2千トン)、化学工業品(対前年76.0%、△19.6千トン)が大きなマイナスとなっています。今後も、世界経済及び日本経済の景気低迷の長期化に伴う輸送量の減を懸念しており、引き続き動向を注視します。

	5月		6月(～15日)	
	実績	対前年※	実績	対前年※
コンテナ	1,310千トン	74.8%	722千トン	82.7%

※対前年は災害補正、同曜日配列補正後の比較

3. 貨物列車の運行等

一部の列車に需要減に伴う運休が生じています。

4. その他の影響等

事業継続に必要な物品の調達について、目立った影響は出ていませんが、事態の鎮静化の遅れや調達先のリモートワークの拡大などで、納期の遅れが見込まれるため、引き続き情報収集に努めています。また工事については、施工会社の作業制限や一部材料調達の遅れにより工事の延期が発生しましたが、事業継続への影響はありません。

5. 感染拡大防止対策

勤務者の健康状態の確認、手洗いや消毒、マスクの着用などの基本的対策をはじめ、在宅勤務や時差通勤についても継続して実施しています。